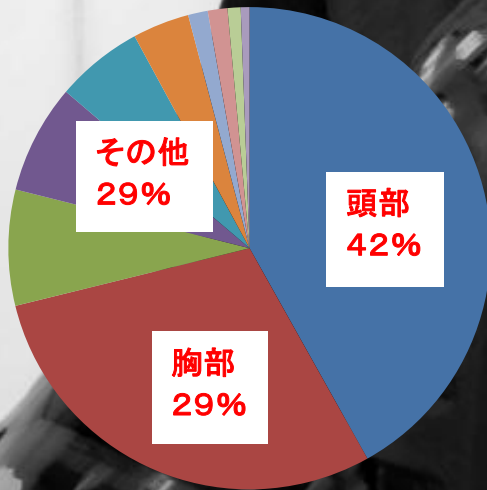


バイクに乗るときは

プロテクター

を着用しよう！

自動二輪車乗用中死者の損傷部位
(平成28年中:全国)



頭部のつぎに損傷を受けやすい胸部

バイク事故の際に、致命傷となる主な部位は、頭部と胸部、腹部です。このうち最も多いのが頭部ですが、次いで多いのが胸部です。平成28年中、全国で発生したバイクでの死亡事故のうち、4分の1を越える方が胸部に致命的なダメージを受けて亡くなっています。頭部のダメージが原因で亡くなった方と合わせると全体の7割超を占めることから、ヘルメットとプロテクターはライディングには必須の重要な安全装備と言えます。

胸部や脊椎などを守るプロテクター

卓越したテクニックを持つプロのレーサーや白バイの隊員なども、万が一の際を考慮して、胸部と脊椎を守るプロテクターを装着しています。プロテクターは、事故発生時に致命傷を受けるリスクを低減する役割を担っています。どんなに経験を積んだライダーであっても致命傷リスクをゼロには出来ません。バイクに乗るときは必ずプロテクターを着用してください。また、プロテクターには左の写真のタイプのほか、ライディングジャケットと一体型になったものやエアバッグタイプのものなど、多様な製品が販売されています。そのほか、肘や膝を守るプロテクターや頸椎を保護するプロテクターもあります。



交通ルールを守って
つながる笑顔



福岡県警察

